



JR東労組 (東日本旅客鉄道労働組合)
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
 東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
 電話 03-5315-0941
 2021年4月20日
 第722号
 発行人 佐藤英樹 編集人 湯ノ目亜矢子
 毎月1回20日発行/一部20円
 (組合員の購読料は、組合費に含む)



JR東労組ホームページは
 はこちらからアクセス
<http://www.jreu.or.jp/>

**新入社員のみなさん
 入社おめでとございます!**

JR東労組は、職場と仕事と生活を守るために、仲間を思いやり、仲間との議論を大切にしています。
 共に楽しい職場をつくり出していきます!



チューリップ花言葉: 思いやり



全地本書記長会議開催 (2021.4.5)

**21春闘の会社回答に対する怒りと悔しさをバネに、
 職場と仕事と生活を守るために、
 私たちの力で将来を描き出そう!**

全地本書記長会議を4月5日に開催し、21春闘の総括と、今後のたたかいについて議論を行いました。
 コロナ禍の厳しい情勢の中での21春闘となりましたが、多くの激励が中央本部に寄せられました。4月5日現在、バス東北本部は2021年度賃金引上げ等に関する申し入れについて妥結していませんでしたので、21春闘のたたかいはまだ続いていることを前提に、総括を行いました。「ベースゼロ」「定期昇給は実施するも昇給係数4分の2」という回答に対して全地本からは、怒り、悔しさが出されました。回答は、私たちが要求した内容からは乖離しており、非常に悔しいですが「敗北」であると総括しました。
 しかし、賃金と手当の違いなどについて議論を重ね、労働者として賃金を引き上げるために要求を掲げる意義を議論し、JR総連春闘として統一要求を掲げてたたかいていくことを決意しました。これは成果の一つであると確認しました。そして、組合員の声にもあるように「要求しなければ定算もなかったのではないかな」など、労働組合の重要性を組合員一人ひとりが感じたことは重要なことです。
 しかし、会社が定期昇給にまで踏み込んできたという現実を捉えれば、このままでは夏季手当はさらに踏み込んでくることは目に見えています。夏季手当交渉に向けて、JR東労組の存在意義をさらに深め、組織強化・拡大を訴えていくことを確認しました。

深澤社長は4月6日の記者会見で「21年度は黒字化できる道筋を描きたい。さらなるコストダウンに努める」と述べています。20年度の鉄道営業収入は対前年50・2%と公表されました。緊急事態宣言が解除されたにもかかわらず新型コロナウイルスの変異株の感染拡大もあり、厳しい状況が続くことは容易に想像できます。
 これまでも、JR東日本の経営幹部は「経営哲学を変えた」と社員に訴え、JR東日本の構造改革を進めようとしています。コロナ禍を機に、会社が大きく転換する中、さらには2年連続の赤字を回避するために、「変革2027」のスピードアップとレベルアップをしていくこととしています。

コロナ禍によって大きく変化する社会環境によって、「働き方」の変化もより加速しています。JR東労組は、鉄道・バス・医療の安全を守ることを最大の価値基準に据え、健全な経営基盤の構築をめざそうとする諸施策に対し向き合い、理解する努力をしてきました。職場で施策を担うのは私たちがですが、「安全・健康・ゆとり・働きがい」が蔑ろにされてはなりません。そのために、私たちは労働組合としての役割のひとつである「会社のチェック機能」を発揮していかなければなりません。
 社会の変化に取り残されることなく、職場と仕事と生活を守っていくために、自らの未来について考え、描いていかなければなりません。JR東労組は「21春闘の会社回答に対する怒りと悔しさをバネに、職場と仕事と生活を守るために、私たちの力で将来を描き出そう!」という職場討議資料を発出しました。職場の未来、仕事が具体的にどのように変化していくのかなど、6月の第40回定期大会まで議論を深めていきましょう!

**21春闘の会社回答に対する怒りと悔しさをバネに、
 職場と仕事と生活を守るために、私たちの力で将来を描き出そう!**

—東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)—

2021年4月 職場討議資料

はじめに
 JR東労組は、DX(デジタルトランスフォーメーション)※1(下記参照)を推進する社会の現実を受け止めて、変わりゆく社会の変化や関連する会社施策に対して、組合員の皆さんと「雇用を守る」ことを前社会が大きく転換する中で、JR東日本の構造改革を進めるため、会社経営幹部は、「経営哲学を変えたい」と社員に訴えました。私たちができることは、JR東労組としてのチェック機能を発揮し、会社施策における職場現実を発信し続けること、そのために各地方や各系統の視点から未来を先取りし、どのような方向性でいくのか検討しなければなりません。社会の仕組みは不断に変わっていきますが、私たちは、労働者であることに変わりはありません。21春闘で培った議論を通じて「私にとってのJR東労組」を考え、JR東労組への結果を呼び掛けることが重要です。組合員の皆さん! 私たちの将来を一緒に展望していきましょう!

社会環境の変化
 ① JR東日本「2021年度グループ年次計画」
 JR東日本は、「2021年度グループ年次計画」〜決意と実行の1年〜を発表しました。深澤社長は、「JR東日本は、足元の課題の解決や、掲げた目標の達成につなげていきたいと思います。輸送サービス、生活サービス、IT・Suica サービス、これらの重なりの中からこそ、「ヒト起点」での新しいサービスが生まれていきます」と述べ、そのためには、「3つの改革(業務改革・働き方改革・職場改革)」を推進し、経営環境の激変でコロナ禍によるご利用者の急減と人々の行動変化は、元には戻らないという認識に立ち、何となく「2021年度の黒字化」をめざすために「変革」へのチャレンジを訴えています。

② 進められるDX
 JR東日本は、2015年から陸運業としては他企業より先駆けて、積極的にDXに取り組み企業、「DX銘柄2020」に選定されています。DXとは「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」とされています。現在、JR東日本の経営環境の激変で、「時計の針が10年早く回る」と述べられていることは、2018年7月に公表した「変革2027」とMaaSの推進などを機に加速させ、デジタル技術を活用したビジネスモデルそのものの変革及び経営の革新に果敢にチャレンジすることです。

今後のスケジュール
 2021年 4月 20日 JR東労組 職場討議資料
 6月21日 JR東労組 定期大会
 8月 各機関代表者会議

(引用元:JR東日本HP)

全組合員で読み合わせをしよう!!

赤いペン

私が利用する路線パスに、3月中旬からSuicaの

機能に加え地域独自サービスを1枚で提供できる全国初の地域連携ICカードシステムが導入された▼今までの紙の定期券からICカードに変更し、バス運転手に定期券を見せることなく「ピッ」と乗降出来るようになった。チケットレス化が進むことで、利便性の向上に繋がっている▼しかし、ICカードを2枚以上持つこととなり、今までの定期券入れではICカードが重なってしまうため、新たな定期券入れを購入しなければならぬ状況になってしまった▼子どもの時からキャッシュレスで買い物をしていくために、現金で買い物をした時に「お釣りがいることが分からない子どもがいるという話を友人から聞いた▼システムや技術の進展で、より生活しやすい社会になることは良いことである。その反面、今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなり、不便になってしまっている▼この先の将来を見据え、社会環境の変化に対応し、新たなシステムなどを活用するために、自ら知識を得て、変化内容を把握し、システムに振り回されないようにしなければならぬ。

(K・S)